

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~5日	8月 ~12日	8月 ~19日	8月 ~26日	9月 ~2日	9月 ~9日	9月 ~16日	
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	33	21	20	24	27	31	25	
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	24	22	14	20	21	18 (19)	3	
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	3	7	1	11	3	4	2	
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	10	8	3	5	1	4	1	
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	3	1	5	2	4	6	2	
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	0	0	3	1	0	0	
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成30年第37週(9月10日~9月16日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10			2	1	3	1	3
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	4	E型肝炎	2		1			1		
		レジオネラ症	2					1	1	
五類全数	11	ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1		1					
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1			
		侵袭性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	5		1			2	1	1
		百日咳	2		1					1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第37週 9/10～9/16)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

## 手足口病の流行状況

## 1. 手足口病

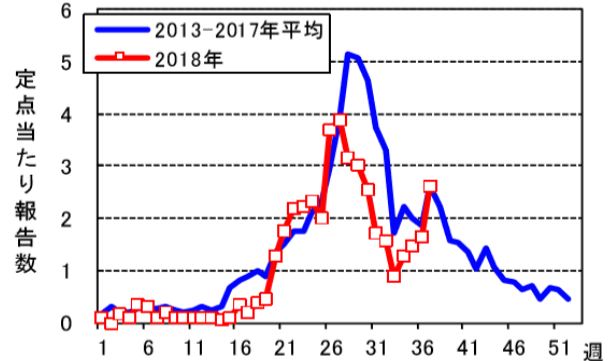
定点当たり2.63人と、前週と比べて増加しました。  
手足口病は、治った後も、比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄している場合もあるため、集団生活では特に注意が必要です。  
感染予防対策として、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理すること、タオルの共有を避けることなどが大切です。

## 2. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

## 3. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は80件(男性51件、女性29件)となりました。



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&amp;A」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
フィリ	インフルエンザ	2	0.05	0.11		小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.62		急増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.45		眼科	RSウイルス感染症	32	1.33	1.93		増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	1.48			急性出血性結膜炎	-	-	-	-	微増減	ほとんど増減なし	
	感染性胃腸炎	128	5.33	4.23			流行性角結膜炎	13	1.63	1.35		横ばい		
	水痘	8	0.33	0.43		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	-			
	手足口病	63	2.63	2.61			無菌性髄膜炎	-	-	0.12				
	伝染性紅斑	2	0.08	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17				
	突発性発しん	13	0.54	0.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	17	0.71	0.52			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	96	男性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
4	E型肝炎	1	3	男性(50歳代)
4	レジオネラ症	1	28	男性(70歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	8	男性(30歳代)・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	男性(80歳代)
5	梅毒	2	80	女性(20歳代)、男性(40歳代)

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(39.1) 発疹	1	女	2018/07/10	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の消化器疾患	腹痛	1	男	2018/07/15	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	男	2018/07/26	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス11型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載